

[2009 年学友会総会報告]

飛騨高山総会、盛況に終了

東海支部長 井戸 靖司(47 回生)

隔年に開催される学友会総会、今年は地方開催ということで東海支部担当にて飛騨高山で開催しました。梅雨時に計画されたにもかかわらず、6月13、14両日は晴天に恵まれました。

総会・懇親会参加人数は会員とご家族、来賓で101名、賛助業者12名の計113名の出席が得られ担当支部としまして感謝いたします。参加者は最高齢の28回生の野中先輩にはじまり短大18回生と幅広い年齢層の参加がありました。

また11名がご家族で出席いただいたことは特記すべき事と思っております。

観光地である飛騨高山ですが、東海支部は学究肌(?)のメンバーが多く、世界に誇るニュートリノ研究施設「スーパーカミオカンデ」も飛騨地区にあり皆さんに紹介できること熱望しておりました。特別講演ではノーベル賞の益川・小林先生と同門の丹羽公雄先生に「X線からニュートリノ」の演題で講演していただき、翌日はスーパーカミオカンデの見学オプションを企画しました。

また、世界文化遺産である白川郷の探訪や高山の古い町並みの散策を満喫いただきました。

懇親会では大学より高橋学長と共に廣瀬事務局長にも参加いただき、完成年度に入る大学をパワーポイントで紹介されました。学友会会長として母校の4年制大学化に全力をつくされた故石山前学友会長の奥様、ご息子にもご出席いただき、出席者の皆さんと母校の大学完成に酔うことができました。いつまでも元気な山田先生、貫禄の付いた西谷先生を相手にライバル大学である岐阜医療科学大学片淵教授(53回生)の軽妙なインタビューなどがあり、2年後京都で再会を楽しみに散会となりました。



京都医療科学大学学友会 平成21年6月13日 於 高山グリーンホテル



懇親会風景



総会風景

後藤名誉会員
乾杯

井戸支部長 挨拶

以上